

『おはなでかけ九州』 v14 号 29197

小さなお子さんと一緒に旅行行けたところ、でなかなか少しだすね。そんな時はコレ!子づれでも行けた九州のオススメスポットを紹介します。

感動的駄菓や、家族風呂、日帰り湯、公園から小旅行などなど、家族ででかけて楽しい思い出を作りくださいね。

『おじいちゃんがおはなでかけ』 大わけ

久松・カッス・オーラソニカ E949才

ある日、エリックの大好きなおじいちゃんが突然死んでしまいました。でも、その後、おじいちゃんはおはなでかけとなっていました。

どうやら、おじいちゃんは何か忘れ物をしていました。

エリックはおじいちゃんの思い出をたどりながら忘れ物を一緒に探します。

おじいちゃんの忘れ物とは?

『おはなでかけのアルバムみつけたよ』 miyuchi 著 744.9才

たくさん撮った思い出写真、引き出しへ中に眠っていましたか? 大人でもにはまだけじゃ楽しめます! お気に入りの写真と共に散歩アセットをはじめて、思い出を忘れないようにコメントを添えながらスクランブル♪

「スクランブル」で、新規アバームを作成します!

きっと宝物のようなアルバムになります!

『ピーターベン・インスカラート』 ニューラボン・マコフシタ K933才

ピーターベンとの冒険から20年、大人になってしまったピーターベンは、毎晩見つ不思議な夢を何度も見させていた。ピーターベンが夢の中の心配している、もう老け入るピーターベンを見て、子どもたちは、子どもたちは、心配してネクターランドへ! 再会したピーターベンと、ウンディたちの冒険と感動的な旅をぜひ楽しんでください。

『巨人の城』 からんじこむアーティストー「全描載版」 安住理香 726.1才

巨人の城や、駄菓子屋など多くの読者を楽しませた思い出の名作は続編があり! 以前と変わらぬ雰囲気のまま作られた作品や、今では違ったその後のまきあわせ版など、当時の漫画を知る人にとてあと驚く! の展開が書かれています。

あれだけアラカルトの後をあなたも覗いてみませんか?

『見いでこそわかる映画』 かみゆ 吉村英夫著 778.2才

年を重ねるのは、悪い事はないとは限らない。人生を通じて今までからわかるという事もある。紹介されていくのは、最近のものからなつかしの名画まで、どれももしもしみじみと考えさせられるものはあります。

思い出の名画で、感動を再発見しませんか?

『佐藤春香』 佐藤春香著 B918才

少し前のこと、「三丁目の夕日」が映画化された時、昭和30年代の暮らしのひとびとを描いたりもしない若者たちが、当時をしきりに懐かしかった様子がおかしくもあり、しかし同時になんとなく胸得できる感もしました。

たとえば、この本のP20を開いて「失われき」に目を通すとき、実際の自分自身の身上に起きるはずもないことも、ひとつ「おもいで」なのだと見えるようだ。

『魔法の贈りもの』 C.アドラー著 K933才

母親を失い、ニセレミーううでひと夏あんどうを見ることになってしまった。リネットはニセミーと一緒に過ごすうつらにだんだん心を開いていく。

ニセミーもまたリネットと離れあってこれまでいく自分を感じううだ。夏が終わればさ取られてやくリネットとはもう会えないが、2人の胸からこの夏の思い出はすと消えない。

『クロースド・ノート』 増井脩介著 F33

1冊のノートを一人暮らしの部屋でクローゼットから見出し兵衛さん、などといふかうそのノートを開いてみる。それは前の住人の日記でした! 先に仕事に一生懸命で日記を読み進むうちに、兵衛さんはいつもあやかに口をきいて……。

「伊吹」の思い出と者悪の思い出が混ざって、また新しい物語がはじまります。

『おみみ日』 川谷俊太郎著 E913才

「おみみは、6歳児と同じ位の背丈もあら日本人の人」であります「生きている」かの様書きかれています。当時、幼稚園園長であった私にして、非常にシニカルな作品で、大人には、児童でも初めて読んだ時に、ちょっとした恐怖感を瞬間に覚えている。大人なりで読み返すと、すぐ元気でできる作品なのです。

この本は、私が絵本を読んで初めて怖い」という感情を持った思い出の1冊です。

『ムーンストーンハウス』 小山内こころ著 K913才

ナナは同じでごみの住人ミズ(さん)に連れられ、ある古い洋館を訪ねることに。そこで出会ったのは、銀色のアーチと豪華なおじいさん。「おはなしの種」という不思議なノート……。

男女別、交換日記のように物語を綴ったこのノートには、おじいさんの意外な過去が隠されていたのだ……。

若き日のおじいさんの思い出とともに、ナナの心の成長にも注目したい1冊です。

『きらめくシャンクトー』 野村耕著 596才

食べ物に関する思い出、なかなか忘れられないから、なぜせんか?

大寺で取て直したのに、食べられてしまふお菓子、うどきそばにおいしかったあのスシ屋のトロ。せせだり、悔しかったり……この本では、そんな食べ物にはつるる思い出が語られています。

読んでいるうちに、ヨタヤででてしまう!!

而です。

『たれ3技術』

岡野惠一郎著 493.7才

人は、過去に、忘れない思い出をひとつや二つもつもて113ものです。それがいい思い出ならともかく、忘れないでいる頭にとりついだらどうないかな? 忘れ出は、消し去りたいです。

本書は、特別な知識と技術をもって、忘れない思い出を頭から取り除くというものです。

いい感じ、どんな技術が心要なのでしょう。これから的人生を楽しくするため、ぜひ御一読ください。

『そっとおとづけ』 v147

今月テーマ

『おもいで』



そとおとどけ

2007年6月号
vol.47

「そとおとどけ」は、直方市立図書館司書によるミニ新聞です。毎月、テーマにちなんだ本の紹介や、イベント情報などをお伝えしています。



読書講演会にノッポさんがやってくる!!

年度より図書館まつりは、ユメニティのおかげとの協同事業となりました。名称が変わりました。第1回ユメまつりは7月2日(土)・7月3日(日)開催です。また、毎年大好評の読書講演会。今年もユメまつりに合わせて行います。

今回、講師は「できるかわい」「アラスカホーバー物語」などでおなじみの「ノッポさん」と高見沢先生をお招きします。

また、講演会の他にも、字形体験やブックザイルなど

たくさんイベントを用意しております。

みなさまのご参加を心よりお待ちして

おります。

読書講演会 日時・場所など:

7月2日(土) 14:00～ ユメニティ大ホール

(入場料: ¥500 (全席自由)

※7月22日は大ホールロビーにて「ノッポさんハート展」
も行います。(10:00～17:00 時間未定)



行事と休館日のご案内:

《図書館内お詫びコーナー》

6月・10日(日) まほうの森... 14:00～

12日(火) 美のこ ... 11:00～

23日(日) わらべ座 ... 14:00～

7月・10日(火) 美のこ ... 11:00～

15日(日) まほうの森講習会 ... 14:00～

《ユメニティ小ホール》

6月・2日(土) まほうの森教室 ... 14:00～

9日(土) 土曜シアター ... 14:00～

『恋愛準備戦勝』(73分)

7月21日(土)・22日(日)は第1回ユメまつり

：本の読み本作成講座のお知らせ：

手の絵本作成講座を開きます。日程は、7月14・21・28・29の計4回です。当日は視覚もあり自分で子どもと一緒に楽しめる本を作ります。詳しくは図書館でご確認ください。

時間と場所: 10:00～11:00前後 エントランスホール講堂

対象: 幼児(4歳以上)次第構成されます。

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2					
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

は。
としょかんのおやすみです

ブックスタートってなに?

ブックスタートとは、絵本を通して親子が本のぬくもりを通りあわせたための取り組みです。直方市立図書館では、市内に住まいの平成18年4月2日以降生まれた生後7ヶ月をむかえた赤ちゃんを対象にブックスタートを行っています。

次回ブックスタートは、約3ヶ月後(10月13:30)より健康福祉課別館IF第2会議室で行われます。

詳しいは図書館にてお尋ねください。

展示のご案内

《児童展示》

『Best of Books 2006』

展示中～7/10(日)まで

『家族特集』

展示中～7/11(月)まで

『夏休み特集』

7/1(火)～7/30(日)まで



『華のとき』は悲しみのとき 星野雅子著 289.11 (今月のオススメ図書) 日本の歴史の運を辿り11世紀1140年頃、九州の知覽から沖縄へ向けて繰られたといふ飛行立(い)たる君主・阿苏君・阿波君・大友君・島津君など、明治をも知れぬ運命を背負い、天災から生き残った女性、島津久人。この本では、そんなトメさんの衝撃的且生涯が描かれています。

「僕の人生をあける」という言葉を廻し突撃していく大青年、「オルタにて降りて行く」と書いて去っていく大若者。

戦争という動乱の中で結ばれていたトメさんと兵士たちの群れに、悲しくも優しくて温かさを感じました。

先月注目H図書より
Q.出典の場所はどこですか?

人気作家かな?生まれて初めて登場した山ので思い出深いです。辛い山道を登り終えたとき充実感は今でも私の宝物です。

朝担当 H
朝担当 H

直方市立図書館

直方市山部301-11 ユメニティおかげ内

TEL: 0949-25-2240

FAX: 0949-23-3902

<http://yumenity/library/library.html>

火～土 10:00～19:00

日・祝日 10:00～17:00

